

# 成長と分配の好循環の実現

2023年3月30日  
マルティン シュルツ

# 成長と分配の好循環の実現 – 新しい資本主義

- 「新しい資本主義」の何が新しいのか？

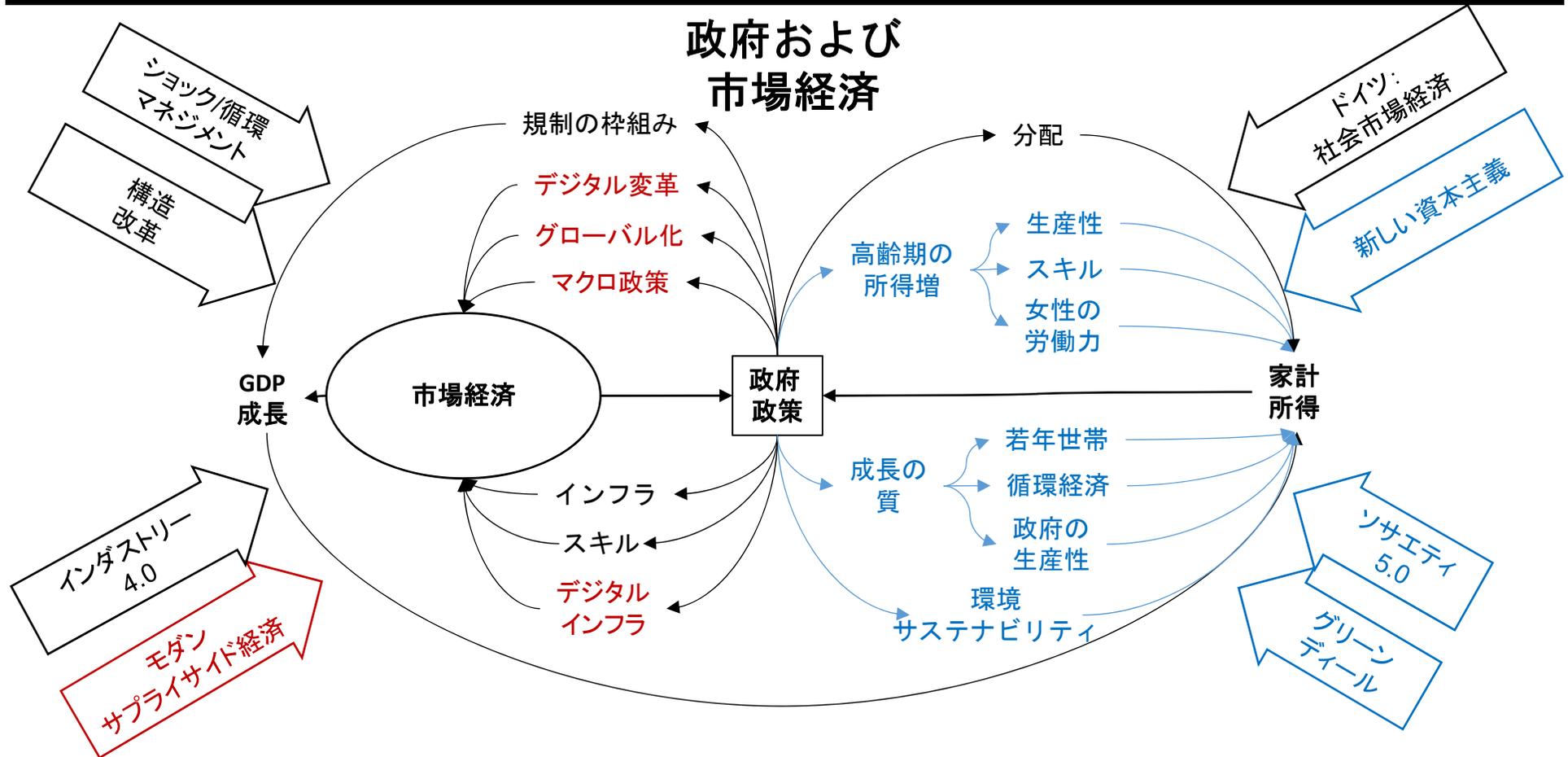
成熟した(高齢化した)経済では、成長が遅くなり、政府サービスに対する需要が高くなります。家計は構造改革への支持に消極的になり、より多くの所得支援(医療と年金)を必要としています。「新しい資本主義」は、持続可能な成長、社会的富(Social Wealth)の創出、長期的なダイナミズムの積極的サポートに向けて、安定した市場フレームワークの受動的な提供者としての政府の伝統的な役割を拡大します。成長の好循環のビジョンは、GDP の成長から持続可能な所得の創出に移行。

- 米国の「モダン・サプライサイド・エコノミクス」やEUの「グリーン・ディール」の先を目指して  
米国とEUの産業政策は、長期的な成長のために、持続可能なインフラ、デジタル化、技能に投資している。これは重要だが、不十分です。高齢化する経済では、公共投資は社会保障費と競合し、ダイナミズムを向上させることはできません。持続可能な変革には、投資の先にある社会資本の構築によって、成長の質を向上させる必要があります。

- 家族の幸福と持続可能な成長が重要な要素に

若い経済は、若い世代の「アニマルスピリッツ」を土台に、創造的破壊と構造改革で成長を支えることができます。成熟した経済は、成長の質を向上させ、ライフサイクル全体で持続可能な視点を提供する必要があります。まず、若年世帯が子育てとキャリア形成を両立できることが必要です。成長のためには、配偶者の所得が機会均等に成長する必要があります。退職後も生産的でアクティブであるには、生涯学習の機会と生産的な政府サービスが鍵となります。持続可能な成長政策は、成熟した経済のライフサイクル全体をサポートします。

# 成長と分配の好循環の実現 – 新しい資本主義



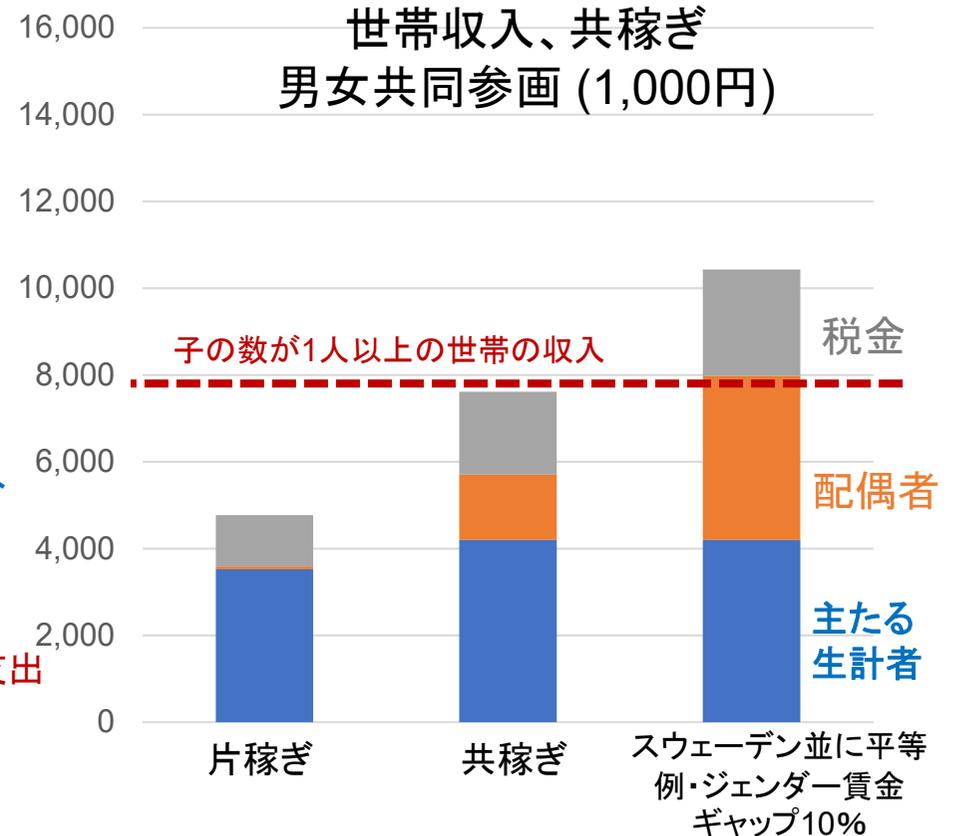
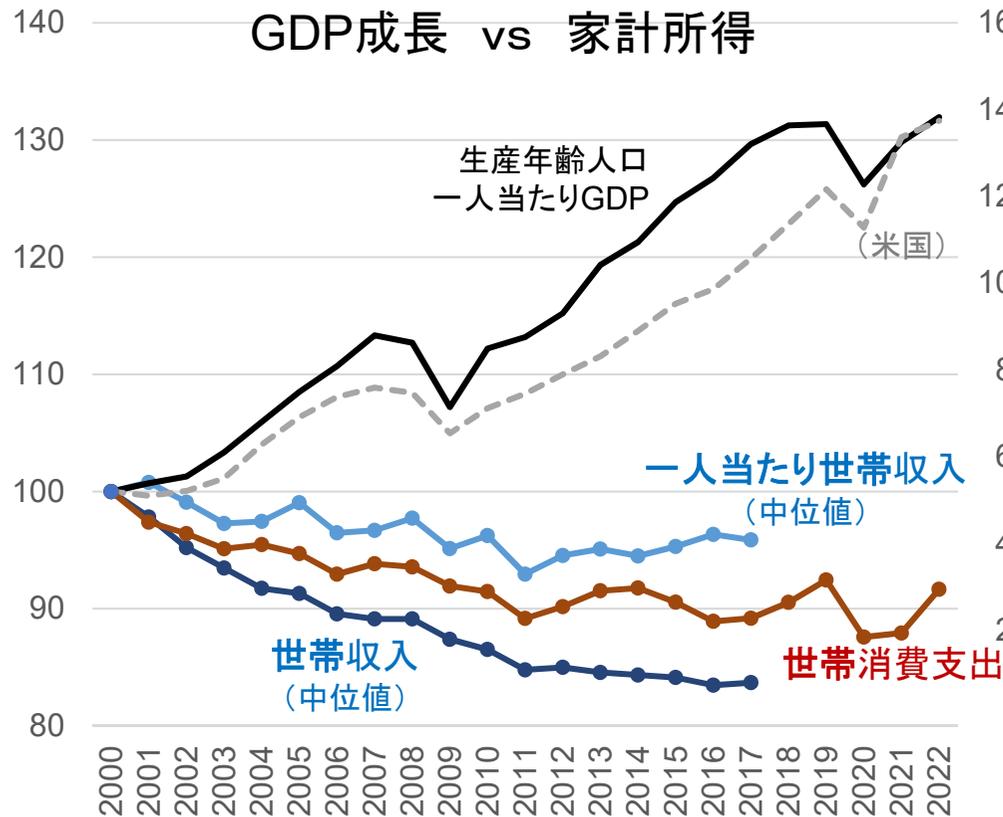
## 成長経済（資本主義）

- 政府は、安定した市場の枠組み、基本的なインフラやスキルへの投資、定期的な構造改革を行い、GDPの成長をサポートする
- 成熟した経済では、構造改革を非効率なマクロ政策に置き換える傾向があり、その結果、公的債務が増大する
- 成長のためには、グローバル化、イノベーション、技術分散がより重要になる

## 成熟経済（新しい資本主義）

- 高齢化社会では、生産性と技術の導入が鈍化し、所得分配が乖離し、行政サービス、レジリエンス、持続可能性がより重要になる
- 政府は、高齢化する労働力に合わせた能力開発により、持続可能な所得成長を支援する
- 持続可能性、若い家族への支援、革新的なデジタルサービスで成長の質を向上させる

# 成熟した経済への挑戦-異なる所得の成長



富の集中や企業投資の低迷、社会サービスの不透明化によって、家計に分配されない経済の割合が高くなる。  
→高齢世帯の所得創出能力の支援、未利用資産の共有、付加価値の高い社会サービスの提供などが必要です。

女性の労働収入の増加は、世帯収入を増やす上で最も重要であり、達成可能な方法である。ジェンダーによる相対的所得平等（スウェーデンと同様）な場合、世帯収入が200万円以上増やせる。世帯収入が800万円超では、子ども数も1人以上であり、少子化対策にもつながる。

(資料) 全国家計構造調査(2019年)から作成。